

広報

いみず野

迎春

本年もよろしく
お願い致します

令和七年 元旦



Instagramも
チェック!



LINEで
友だち登録!

編集発行

いみず野農業協同組合 総務課
富山県射水市北野1555-1
TEL.0766-52-0023/FAX.0766-52-5955

JAいみず野ホームページ
<https://www.ja-imizuno.or.jp/>

JAいみず野 検索



2025
1&2
合併号
January&February
Vol.290



年頭の挨拶

いみず野農業協同組合代表理事組合長

塚本 清

新年あけましておめでとうございます。
組合員・地域の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より当ＪＡの各事業運営に格別のご理解ご協力を賜わり、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年の元日に発生した能登半島地震により、管内でも多くの被害が発生し、私たちの農業や生活に大きな影響を及ぼしました。

ＪＡといたしましても、被災された皆さまの保証や地域の復興に向け、全力で支援を行っているところであり、これからも、地域に根ざした組織として皆さまが安心して生活できるよう、取り組んでまいります。

昨年は、一昨年に引き続き猛暑にみまわれ厳しい気象条件となりましたが、水稲うるち玄米の一等米

比率は92.4%（11月末現在）と、県下でもトップクラスの品質となりました。大麦・大豆は、猛暑等の影響を受けましたが、特産の「富山ブラック枝豆」は県内外での販売強化によりブランド力も高まっており、人気商品として広がりを見せております。

本年も主穀作を始め園芸作物に一層の力を注いでまいりますので、生産者の皆さまのご協力をお願いいたします。

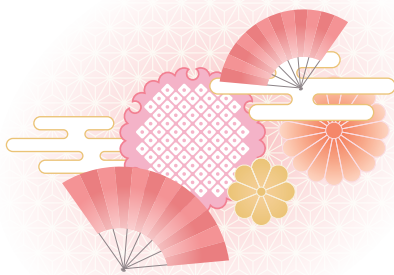
令和6年産米の概算金は、コストの上昇を考慮したものでしたが、米需要の逼迫により、店頭での米価が高騰した事で大きな追加支払いがありました。

米の販売価格上昇に伴い、農業所得が大きく増加しましたが、米の価格安定には引き続き生産費をベースとした概算金の設定等、安定した販売を目指す所存であります。

農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や気候変動など、様々な問題を抱えています。持続可能な農業の実現を目標として、需要に応じた生産・販売と水田フル活用を基本に、農業生産拡大の実現に取り組めます。

農業のデジタル技術の活用による省力化「圃場のデジタル化による圃場管理・栽培履歴の見える化」を行い、労働生産性の向上を目指し「スマート農業」の更なる実践や環境に配慮した農業の実践として、もみ殻を肥料化した商品「シリカエールプラス」による循環型農業で化学肥料削減にも取り組んでいきたいと考えています。

結びになりますが、組合員・地域の皆さま方ますますのご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



いみず野農業協同組合

代表理事組合長

副組合長理事

副組合長理事

常務理事

常務理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

塚本

土合

廣嶋

野尻

川東

田中

清水

川野

堀野

稲垣

宮原

堀木

鈴木

北角

島中

森田

島田

梅川

北林

松本

稲垣

森永

折橋

夏野

森田

山屋

駒井

小見

矢野

正清

茂夫

一也

知成

茂幸

美憲

裕之

修之

俊之

謙次

清範

正史

武志

正守

秀信

孝之

龍男

勝実

剛明

美雪

玲子

清弘

邦昭

啓介

武明

秀樹

豊彦

昌彦



年頭のごあいさつ

射水市長

夏野 元志

新年明けましておめでとうございます。
皆様には、輝かしい新春を健やか
にお迎えのこととお慶びを申し上げ
ます。

組合員の皆様をはじめ、いみず野
農業協同組合の皆様におかれまして
は、日頃から地域農業の振興や食の
安全・安心の確保に向けた取組のほ
か、本市の様々な施策や取組の推進
に格別なご理解とご協力を賜り、厚
くお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、元
日に発生しました能登半島地震によ
り、農地や農業用施設、農道橋の傾
斜、用排水路のひび割れなど、多く
の被害が発生しました。震災から一
年が経過いたしました。これまで
の間の復興に向けての皆様のご協力
とお力添えに対しまして、心から感
謝を申し上げます。現在、国や県と
連携を図りながら復興支援に取組ん
でいるところであり、一日も早く日

常を取り戻し、安心して農業が営め
るよう引き続き全力で復興支援に取
組んでまいります。

また、昨年は集中豪雨や記録的
な猛暑など、近年の激甚化・頻発
化する自然災害が相次いで発生し
たことから、農作物の品質低下や
収量減少などが懸念された年でも
ありました。加えて、ロシアのウ
クライナ侵攻以降において、燃料
や肥料など生産資材の価格高騰が
続くなど、農業を取り巻く環境は
大変厳しい状況となりました。こ
のような状況にあっても、水稲う
るち玄米の一等比率が90%を超え
たことは、計画的な育苗作業や適
正な防除の徹底、適切な水管理な
ど、ひとえに組合員の皆さまの日
頃からのご尽力の賜物と、心から
敬意を表するところであります。

新型コロナウイルスの感染症拡大
に端を発した価値観やライフスタ
イルの多様化、ウェルビーイング

の推進など、社会情勢は目まぐる
しく変化しております。農業分野
におきましても、急速に進行する
少子高齢化・人口減少による担い
手や後継者不足、耕地面積の減少
による生産基盤の縮小などの課題
が顕在化する中、高品質な農産物
の生産や生産者の皆様が安心して
農業に従事できる環境づくりが求
められております。

新年におきましては、引き続きこ
れらの課題に対してスピード感を
もって対応するとともに、国・県を
はじめとした関係機関と連携を図り
ながら、地域農業の振興に努めてま
いります。加えて、地域のにぎわい
づくりや関係人口の創出に資する地
方創生の推進、デジタル技術を活用
した市民サービスの向上といったま
ちづくりの視点を念頭に、「豊かで
活力のあるまち」の実現に向けた市
政運営に全身全霊で取組んでまい
は、より一層のお力添えを賜ります
ようお願い申し上げます。

結びに、いみず野農業協同組合の
今後ますますのご隆盛と組合員の
皆様をはじめ、ご家族の皆様のご
健勝とご多幸を心から祈念申し上
げまして、年頭のごあいさつとい
たします。

◆企画管理部			企画管理部長	竹腰 公俊
総務課			北條 雅俊	
審査課			竹内 信一	
◆監査室			高松 善一	
◆金融共済部			竹沢 英二	
金融共済部長			村田 伸宏	
兼貯金為替課長			樋爪 浩史	
兼共済普及課長			坂野 広樹	
融資課			井上 学	
◆営農経済部			寺井 直人	
営農経済部長			鈴木 健一	
兼営農経済部次長			蔵町 博史	
兼燃料流通課長			高田 勝弘	
兼生産販売課長			福田 隆志	
営農指導課			岡本 昭宏	
園芸特産課			古岡 和也	
車西課			吉本 篤史	
農業機械課			寺西 敏	
◆支店			大木 太恵	
小杉支店長			稲垣 正英	
太閤山支店長			南本 博明	
三島野支店長			大門 隆雄	
南郷支店長			大門 幸治	
大島支店長			新湊 矢後	
大門支店長			新湊 桃井	
新湊支店長			東部 章	
東部支店長				



年頭のご挨拶

高岡農林振興センター所長

武内 政弘

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より当農林振興センターの普及指導活動及び農業農村整備事業の推進に格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、5月中旬の低温・日照不足による初期生育の遅れ、出穂から登熟後半の高温など、一昨年に続き厳しい気象条件となりましたが、「富富富」や「てんたかく」等の高温耐性品種の作付け拡大はもちろん、「適切な水管理」や「適期防除」などの技術対策に生産者の皆様が一体となって取り組んでいただいた結果、本県の令和6産水稻の作柄については、作況指数が99の「平年並」、品質は、10月末のJAいみず野のうるち玄米一等比率が92.4%と、一昨年を大きく上回りました。

また、令和6年産米の概算金

は、令和5年産米の全国的な民間在庫量の減少を背景に需給が引き締まる中、生産コストの高騰を反映し、過去20年で最高額となりました。良質米生産県である本県において、「富山米」が消費者や実需者に評価され続けるため、高品質で安定的に供給できる米づくりを一層進める必要があります。引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

県の基幹作物である大麦・大豆については、昨年5月に「小杉大豆・麦乾燥調製施設再編工事」の竣工式を盛大に開催されたところであり、さらなる品質・収量の向上や供給の安定化を通じ、地域農業の発展に寄与するものと期待しております。

園芸については、「稼げる！とやまの園芸産地づくり」に取り組み、このうちJAいみず野の「えだまめ」については早期播種ほ場における資材の二重被覆や品種比較・液肥試験等、出荷量・出荷額

の向上対策が実施されました。7月の降水量が多く生育が停滞し、出荷量はやや減少しましたが、継続出荷産地としての信頼が得られ単価が向上し、出荷額は昨年を上回りました。また、「日本なし」は気象被害が少なく、結実良好、大玉傾向となり、出荷量は前年より1割増加し、食味の良さから高い市場価格に支えられ、前年より出荷額は2割程度増加しました。

農業を取り巻く環境は、産地間競争の激化や農業従事者の高齢化、資材価格の高騰、地球温暖化による恒常的な異常気象など、様々な課題に直面しています。

当センターとしましては、持続可能な「競争力の高い農業」と「豊かで美しい農村」の実現に向け、能登半島地震からの復興はもとより、地域営農体制の構築、農業後継者の確保・育成、消費者に求められる高品質な農産物の安定生産と販路拡大、スマート農業技術の導入促進、水田フル活用による高収益作物の生産拡大、ほ場の大区画化等農地整備事業による低コスト化の促進、老朽化した用排水施設の改修など、ソフト・ハード対策を一体的に進めることとしております。

本年もセンター職員一丸となり、関係機関と連携して、JAいみず野管内の生産者の皆様が意欲と希望を持って農業に取り組んでいただけますよう、全力を尽くしてまいります。

結びに、皆様方のますますのご健勝ご活躍を心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。





新年のごあいさつ

青年部 部長

高木 謙太郎

新年明けましておめでとうございます。組合員・盟友の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられましたことを謹んでお慶び申し上げます。また、旧年中は青年部活動に格段のご理解、ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、能登地域において、能登地震や豪雨による多くの被害が発生し、私たちの農業や地域社会に深刻な影響を及ぼしました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。私たち青年部は、地域の皆様と共に、この困難な状況を乗り越えるために、力を合わせて取り組んでいく所存です。

農業情勢に目を向けると、昨今の気候変動や資材価格の高騰、そして人手不足といった課題が山積しています。これらの問題は、私たち農業者にとって大きな試練であり、持続可能な農業を実現するためには、革新と協力が不可欠です。青年部としても、次世代の農業を担う者として、積極的に新しい技術や知識を取り入れ、地域の農業を支えていくことが求められています。

さて当青年部では、次世代の農業を担う子供たちに農業を身近に感じてもらう

ために射水市内の小学校5・6年生を対象とした「チャレンジ農業体験」を開催しております。

11月には春に植えたネギを収穫しました。自分の植えたネギが立派に育っており、収穫に力が入りました。定植から収穫までの一連の農業体験を通して農業の楽しさや大変さを体験していただけたのではないのでしょうか。参加者の中から将来農業や食に携わる方がおられれば、これ以上の喜びはありません。普段何気なく口にしている農作物への関心を持つ機会づくりの場としてこの活動は次年度以降も引き続き開催をしてまいります。

今後とも地域社会活動に積極的に参加し、若手農業者の学習と交流の場として活動を続けてまいります。また、射水市の農業がさらに発展するように盟友と協力し全力を尽くしてまいります。と考えております。組合員の皆様には、青年部活動により一層のご理解と温かい支援を賜れば幸いに存じます。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



新年のごあいさつ

女性部 部長

犀藤 秋美

新年あけましておめでとうございます。

組合員、女性部の皆様方には輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

今年度は、J A女性組織3カ年計画の最終年度となり、「J A女性・想いをひとつにかなえよう」の3つの重点実施事項(1)つながろう(2)まもうろう(3)かわるを、J Aを抛りどころに地域や仲間とつながり、まもり、かわることで「食」「農」地域の活性化と仲間づくりやJ A事業への積極的参画を実践してまいりました。

この度の能登半島地震や温暖化の影響による自然災害が各地で発生し、物価上昇もあり住みにくい時代となってきました。また、部員の高齢化・部員の減少、役員のなりて不足など今後の組織活動の課題や充実と発展を図り、組織活性化に結びつけることを目的に「J A女性部リーダー研修会」が6月と10月に実施され、忌憚のない意見交換がなされました。

「みんなでご飯を食べよう」米消費拡大運動の実施、食育「親子でうちごはんレシピコンテスト」への参加、令和6

年11月30日開催のJ A富山県女性大会では、片口支部の丸池倫子さんが「結ぶそして繋ぐ」と題して発表し、みごと県代表に選ばれ、本年7月に三重県で開催される東海北陸地区大会に出場することとなりました。

チャレンジ農業ではネギの定植そして収穫、自分たちで収穫したネギ、長いもを使つての料理をを楽しみました。また、5年ぶりに開催した「ちやぐりん大会」では沢山の参加があり、ゲームやクイズ、ニジマスのかみ取りなど、盛りだくさんな一日を思いっきり楽しみました。

農業産業まつりでは趣向を変え、女性部では喫茶コーナーでコーヒーを販売しました。大変好評だったのではないかと自画自賛しております。

年間を通して「健康教室」「手芸教室」「料理教室」「フラワーアレンジメント教室」そして高齢者支援活動「さわやかほっとサロン」を開催し、地域に根ざした活動を展開してきました。

本年も昨年同様皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。新春の挨拶とさせていただきます。

12/2

「令和7年度」JAいみず野 農業関係事業要望書」を提出



去る12月2日(月)、射水市庁舎において、令和7年度JAいみず野農業関係事業要望説明を行いました。

塚本組合長より、「近年の農業は、気候変動や農業資材価格の高止まり、後継者不足などの様々な課題に直面していますが、これらの解決のため関係機関と連携しながら進めている射水市スマート農業DXを実現し、生産者が安心して農業生産に取り組めるよう一層の支援をお願いしたい。」と挨拶し、新規要望として、①射水市スマート農業DX実現への体制強化 ②農業所得増大に向けた取り組みに対する支援(畦畔除去に対する支援や園芸用農業機械導入支援)、継続要望として、もみ殻シリカ灰肥料「シリカエールプラス」による循環型農業の普及支援、地力増強を図る取り組みや大豆・大麦の種子更新への支援の要望書を夏野市長へ手渡しました。

夏野市長からは、「今回の要望書の内容については、市の財政事情も厳しいところではありますが十分に検討し、できる限りの支援をさせていただきます。」とお言葉をいただきました。

さらに、射水市議会・奈田議長と不後副議長に事業説明を行い支援を要望しました。



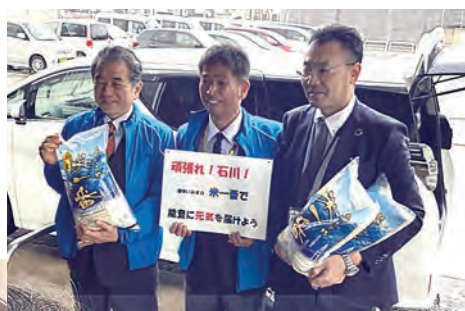
11/28

輪島市へ 「米一番」50キロを届ける

11月に開催された射水市農業産業まつりにおいて復興支援の取り組みとして募金活動を行いました。38,425円の募金が集まり、「米一番」の販売益の一部とあわせて射水市と輪島市に寄付を行いました。

11月28日(木)、職員4名が能登半島地震で被災した石川県輪島市へ「米一番」50キロを届けました。被災地の日も早い復興をお祈り申し上げます。

募金にご協力いただいた皆様ありがとうございました。



11/21

ガンバレ！介助犬！J A 共済 働くワンワンランド！



J A 共済では、自賠責共済および自動車共済を提供していることから、交通事故の被害者の社会復帰を応援する活動の一環として、介助犬の支援をしています。

11月21日（木）、射水市立大門小学校において3年生を対象にワンワンランドが開催されました。

日本介助犬協会の方が講師となり、介助犬による仕事の紹介、介助犬クイズが行われ、介助犬の役割を児童たちに伝えました。

介助犬のピトとブルーナが冷蔵庫やタンスを開けて物

を持つてくる、発券機から駐車券を取る、落とした鍵・コインを拾う、靴下を脱がせる等の動作を実演しました。

実際に介助犬が行う仕事の様子をみて児童は「たくさん犬がいるなかで、介助犬という犬がいることを知らなかったのを知れてよかった」と話しました。

これからもJ A 共済では、健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献できるよう、さまざまな地域貢献活動に取り組んでまいります。



11/25

年金友の会 「高原兄オンステージ」



11月25日（月）、ラ・ポールにおいて年金友の会イベント「高原兄オンステージ」を開催し、友の会会員380名に来場いただきました。オープニングは客席後方からの登場でみんなを驚かせ、前半の部は「リンリン富山競輪」等CMソングで盛り上がりトークでも笑いが起こりました。観客からの言葉をもとに即興で歌を作り披露されると、流石プロだと大歓声が上がりました。

後半の部において、受賞曲の「完全無欠のロツクンローラー」では観客が大合唱となり、アンコールの「きときとの夢」を歌い終わった時には拍手喝采になりました。来場者からは「いつもテレビで見ている高原さんを初めて生で見れて嬉しかった。」との感想を多数いただきました。多くの方に来場いただきありがとうございました。

今後とも楽しんでいただけるイベントを企画します。



11/30

富山県女性活動実績発表会 最優秀賞受賞



11月30日（土）に富山県農協会館で行われた第68回J A 富山県女性活動実績発表会において、片口支部の丸池倫子さんが最優秀賞を受賞されました。片口支部ではみんなで楽しむことを第一に、体操や遠足、料理教室を企画し活動を行っています。

丸池さんは能登半島地震後の新聞で目にした「人は、温かいものを口にしたとき、不安が和らぐ」という一文が心に刺さり、片口支部として「温かくて手軽に食べられて安心できるもの」である「おむすび」を自分たちの財産にしようと今年度活動をしてきました。震災だけでなく、不安に負けそうな人に出会った時に、温かい気持ちを込めておむすんであげられるそんな人になろうと努力し様々なことを企画し行動したことが発表されました。

丸池さんは令和7年7月に三重県で行われる東海北陸大会に出場されます。

第31回定例理事会

日時…令和6年11月20日(水)午後2時より
場所…JAいみず野本店3階大ホール

◆協議事項◆

- 第一号議案 役員賠償責任保険の継続加入について
第二号議案 令和6年度上期監事監査により指摘された事項に関する措置回答について
第三号議案 大口並びに理事への貸出の申込みについて

◆報告事項◆

- 一、10月末実績報告について
二、「マネー・ローンダリング等の防止にかかる対応状況の報告」について
三、令和6年度余剰金運用計画(第4四半期)について
四、令和6年度JA共済コンプライアンス点検結果及び改善方針の概要について
以上について、報告されました。

協同の力 JAいみず野概況

(令和6年11月末日)

正組合員数	5,011人 (△ 77人)
准組合員数	7,551人 (△ 132人)
みなさまの貯金高	1,371億22百万円 (△ 6億円)
みなさまへの貸出金	274億56百万円 (△ 15億8百万円)
長期共済保有高	2,402億21百万円 (△ 65億85百万円)
購買品供給高	24億60百万円 (△ 62百万円)
販売品販売高	20億61百万円 (1億66百万円)

*()内の数字は前年同期比



厚生連高岡病院からのお知らせ

認知症予防につながる食事と栄養

厚生連高岡病院 栄養管理部課長 林 幸代

認知症とは、記憶障害や判断力低下などの認知機能障害を起こして日常生活に支障をきたす病気です。種類もいくつかありますが、高齢になればなるほど、また男性より女性の方が認知症になりやすいというデータもあります。

認知症発見のきっかけになることが多いのはもの忘れです。しかし、50歳も超えれば誰ももの忘れの経験は…ありますよね?! 老化現象と認知症の線引きは難しい問題ですが、老化現象は加齢に伴う生理的な変化で、認知症は病気です。

世界保健機関(WHO)が発表した認知症に関するガイドラインでは、予防に繋がるとする具体的な12項目を提言しています。年齢を重ねて認知症を発症するのを単に受け入れるのではなく、今からでも生活習慣や行動を変え、認知症のリスクを低減させ、発症を遅延させようと呼びかけています。

認知症のポイントの中でも、食事面の改善は注目すべきです。体重や栄養状態が認知症と関わりがあるということがわかってきました。中年期(45~65歳)では「肥満」が、高齢者(65歳以上)では「やせ」が認知症のリスクとなります。年代によって認識を変える必要があります。特に高齢者に体重減少のきざしがあれば注意しましょう。

認知症のリスクを下げる食生活は、「**体重を管理していろいろな食品を食べること**」です。



- いつもの和食に…牛乳・乳製品をプラス。茶碗蒸しをだしではなく牛乳で
- いつもの刺身に…玉葱・キュウリ・ナッツ・生姜やミョウガの香味野菜を加えてたさに
- いつものおひたしを…ちりめんじゃこ・こしょうを加え油で炒める



WHO認知症予防のための12項目には他にも

●集まりに参加



●運動



●病気の管理



●禁煙



などがあります。



女性部だより

第19回農業産業まつりに参加して

まつりに参加して

小春日和の11月9日(土)、アルビス小杉総合体育センターにて「第19回射水市農業産業まつり」が開催されました。

開幕にあたり、まずは農産物品評会などの受賞に続き、女性部の活動の『家の光記事活用作品』で、南郷支部・二〇支部の方が各々受賞されて、いよいよステージイベントのスタートとなりました。

これまでは館外での飲食ブースで、うどん販売を中心に担当していた女性部でしたが、今回初めて会場内のコーヒー販売に携わることにしました。

最初は慣れないコーヒーマーカに悪戦苦闘でしたが、職員



ありがとうございます

一層活気が溢れました。

ステージ前で繰り広げられる、高岡商業高校のマーチングや大門高校の吹奏楽部の演奏、CHOKOさんのライブの歌声を聴きながら、楽しく接客し、無事に準備されたコーヒーを完売することができ、全員が心地よい疲れとともに達成感を味わったに違いありません。

従来のうどん、おにぎり販売とは異なる新しい試みでしたが、女性部のチームワークで来場者のみなさまを十分おもてなできたのではないのでしょうか。

(小杉支部)



第3回 チャレンジ農業

11月16日(土)、秋晴れの下チャレンジ農業体験第3回目、川口公民館と近くの圃場で開催されました。

今回は春にみんなで植えた長ネギの収穫とお好み焼き作りです。

まずは圃場へ行って長ネギの収穫です。今年の暑い夏の間も青年部の方の協力のおかげで、太く長いネギがたくさん採れました。青年部の皆様ありがとうございました。

ネギの次はお好み焼きに入れる長芋掘りをしました。深い穴の中に入ってみるとみんな泥んこになって力を合わせて収穫ができました。疲れた、と言いつつも満足そうな顔で川口公民館へ帰ってきました。

さあいよいよお好み焼き作りです。いつもは家族の方に作ってもらっていますが、今回は全部自分で作ります。すりおろした長芋に薄力粉、タマゴ、干しエビと取れたてのたつぷりのネギを入れ



みんな頑張りました☆



てよく混ぜます。水の代わりに長芋を使うことでふくらモチつとします。豚肉をよく焼いてから生地を広げて焼きます。最初はなかなかうまくひっくり返せなかったお友達もいましたが、何度か焼くうちにプロ並みの腕前になってきました。

お好み焼きの他にとれたてブロッコリーの塩ゆでとおにぎり、豆腐とねぎの味噌汁をいただきました。自分で収穫した野菜を使ってみんなで食べる昼食はとてもおいしく、みんな満足そうでした。

帰りには両手で持ちきれないほどたくさん長ネギのお土産をもらい、最高の笑顔で終了しました。

(二〇支部)



今後の日程

- 2月4日(火) フラワーアレンジメント教室
- 7日(金) 料理教室・手芸教室閉鎖式
- 8日(土) 食と農を考える集い
- 3月8日(土) JA女性の集い

連携し魅力アップ



「どうしてなんですか」と詰め寄る記者たちを、「寿司といえば富山でしょうがっ!」と一喝して振り払う。石原良純さんの渾身の演技が光るムービーを見た。大阪で。

一緒に旅をするJ A富山中央会の戸倉雅斗さんは「こんなコマercial、あったんですね」と、縦型のデジタルサイネージ(電子看板)にくぎ付けに。もう

一人の同伴者、J Aみな穂の桑守佑太さんは、北陸3県の地酒を試飲できるバーコーナーをじっと見つめていた。「きょうは仕事。さすがに飲み比べはできないなあ」と自身に言い聞かせているように見えた。

なぜ、この3人で旅をしているのかと問われると、ちょっと説明しにくいのだが、どこにいるのかはお伝えできる。富山・石川・福井の情報発信拠点「H

北陸の情報を発信する「HOKURIKU+」



セルフ式の日本酒飲み比べコーナー

富山湾鮭のオブジェがお出迎え



OKURIKU+(ホクリクプラス)である。JR大阪駅のそば、つまり梅田にある商業施設「KITE大阪」内に今年オープンしたばかり。「ええもんにつぼんめぐり」をテーマに日本各地のアンテナショップを集めた2階フロアにある。

「HOKURIKU+」を訪ねたのは金曜だったが、午前11時の開店と同時に次々とお客さんが訪れ、レジには長い列ができていった。

富山の売り場で目を引くのは、海の幸をネタにそろえた「富山湾鮭」のオブジェ。石原さんの動画と相まって、新田知事が始めた「寿司」といえば、富山「キャンペーン」の盛り上げにひと役買っている。全国

の人が富山の寿司を食べるようになれば、富山のお米の消費量もアップするわけで、このキャンペーンが成功すれば喜ばしい限りである。

月世界や甘金丹、ほたるいのかの素干し、パパヤ桃源、ドラえもんの人形といった定番ものから、とやま和牛のカレーや入善ジャンボ西瓜グミまで、私の知る富山県の名産がほとんどそろっているように見えたから、石川、福井の商品もきつと充実しているはず。富山湾鮭のオブジェのように、石川エリアには黄色いだるまのようなマスコットキャラクター「ひやくまんさん」を置き、福井エリアには恐竜「フクイラプトル・キタダニエンス」の頭骨模型が鎮座していて、いかにも北陸らしい。

最近はこの施設だけでなく、農産物の海外輸出プロモーションなど北陸3県の連携企画が増えてきた。3県にはそれぞれ異なる魅力があって、手を組めば大きな力になる。北陸新幹線の敦賀延伸も、追い風になるだろう。



福井県のコーナー



石川県のコーナー

新NISAは JAで!!



©よりぞう

身近な
JAバンクが
便利で安心!



投資可能額・
非課税保有限度額の拡大に
よって効率的な資産形成が
できます



非課税保有期間が無期限になります



売却して空いた枠を再度利用できます

投資信託のこと、資産運用のこと、お気軽にご相談ください!

〈投資信託に関してご留意いただきたい事項〉

●投資信託は預貯金とは異なり、元本の保証はありません。●投資信託は預金保険・貯金保険の対象ではありません。●JAバンク®が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。●JAバンクは投資信託の販売会社であり、投資信託の設定・運用は投資信託会社が行います。●投資信託は国内外の有価証券等で運用されるため、信託財産に組み入れられた株式・債券・REIT等の値引きや為替変動に伴うリスクがあります。このため、投資信託資産の価値が投資元本を下回るリスク等は、投資信託の購入者に帰属します。●一部の投資信託には、特定日にしか換金できないものがあります。●投資信託の購入から換金・償還までの間に、直接または間接的にご負担いただく代表的な費用等には以下のものがあります。なお、これらの手数料等はファンド・購入金額等により異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。各投資信託の手数料等の詳細は契約締結前交付書面、投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。●購入時：購入時手数料がかかるファンドがあります。●運用期間中：運用管理費用（信託報酬・管理報酬等）が日々信託財産から差し引かれます。●換金時：信託財産留保額がかかるファンドがあります。また、外資に両替して購入・換金するファンドには、上記の各種手数料等とは別に為替手数料がかかります。●お申込みにあたっては、契約締結前交付書面、投資信託説明書（交付目論見書）を十分お読みいただき、内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

※お客さまと取引のある農業協同組合および当該農業協同組合が所在する都道府県の信用農業協同組合連合会ならびに農林中央金庫を含めてJAバンク会員といいます。



取扱店

小杉支店 TEL.0766-55-2525 大門支店 TEL.0766-52-0415

スプリング フェア

in JAカーズ

厳選中古車も

多数あり♪



中古車情報検索サイト
カーセンサー

1/25_土 & 26_日
10:00～16:00 10:00～15:00

車にお絵かき
できちゃう!

キッチンカー
が来るよ!



2日間
限り

ご成約された方には
下記のいずれか1つ

プレゼント進呈!!

〈ETC・ドライブレコーダー(前面)・カタログギフト・
オイル交換2回分〉からお選びください ※取付工賃別途

国産メーカーのタイヤ **特価** にて販売!!



JAマイカーローンもご相談お受け致します。是非ご来場ください!!

●下取・買取強化中 ●車検予約 随時受付中(割引特典あり)

JAカーズ!



いみず野農協車両センター
射水市三ヶ977番地の2

TEL (0766) 55-2527
平日 8:30～17:00 / 土日 8:30～16:00

